



ふるさとを感じさせる盆踊りで町をPR

日野郡3町で瑞風をおもてなし

よお来てごしなつたあ。

7月20日、JR米子駅でJR西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」の歓迎イベントを行いました。

これは、「美しい日本をホテルが走る」をコンセプトに、6月に運行を開始した瑞風や乗客を歓迎しよう、日野郡3町などが企画。午後9時過ぎに瑞風が米子駅のホームに到着すると、3町が映像やマスコットキャラクターなどを使ってまちをPRしました。その後、奥日野の涼と題し、日南町の大宮盆踊りを披露、ホームに降り立った乗客をもてなしました。



私たちが愛情込めて育てました！

日野高生が育てた野菜が学校給食に

愛情野菜を子どもたちに！

7月4日と5日の2日間、町内の小中学校の学校給食に、日野高校のアグリライフ系列の生徒が無農薬で育てたナスとキュウリを使った給食が提供されました。

4日の給食ではナスを使った「ナスのみそ汁」が、5日には「キュウリとワカメの酢の物」が登場。給食を食べた生徒からは、「ナスの食感がしっかりあっておいしい。みそ汁にぴったりだと思う」といった感想が聞かれ、笑顔いっぱいのレストランタイムとなりました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第49回

「らちもなえ」
ここ日野地域では、「筋道・道理が立たない」「つまらない」などという意味で、「らちもなえ」と言ったりします。

厳密に言えば、これは方言ではなく、「埒もない」という正しい表現ですが、興味深いのは、「らちもなえ」が「やちもなえ」と変化して使われていることです。

あの人たち、という意味で「あのもんらち」「あのもんやち」と言う人がいますよね？同じ町内でも微妙に表現が違う、これも方言の面白さです。

日野弁ピックアップ「ら」

～らあ…（推定・予測の意を表す）～あろう／～でしょう。「よかーが」「そげだー」
～らあか…（推定・予測の意を表す）～であろうか。「来うだー」／～てやろうか。「行っちゃー」
～らあで…～であろうよ。「もうすぐ来うだー」
～らち…～たち／～など。⇒やち。「うちー」「あんたー」

協力：日野町歴史民俗資料館友の会



あいさつと共に熱心に声をかける

社会を明るくする運動

犯罪や非行のない明るいまちづくりを呼びかける

7月の「社会を明るくする運動」の強調月間に合わせ、7月3日、JR根雨駅で関係者らによる街頭啓発活動が行われました。

この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするもので、全国で昭和26年に始まり、今年で67回を迎えます。

根雨駅では、朝の通勤・通学の時間に合わせ、高校生らに呼びかけながら啓発用品を配布し、明るいまちづくりを呼びかけました。



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

毎年話題になる熱中症。
あなたの意識に潜む
外な落とし穴

毎年夏になると熱中症の話題が出て、注意を呼びかけているにもかかわらず、多くの患者さんが発症しています。何が問題なのでしょう？
以下のようなことはありませんか？
①気分が悪くなるなど症状が出たら休もう。
②あと少しで作業が終わるからもう少し頑張ろう。
③室内でじっとしているだけなので心配ない。
このような考えは危険です。

外に出かけるとき

正しい知識で熱中症を予測・予防することが大切

自分で回復させるのは困難です。高齢者は症状が出にくく、症状が出た時はすでに重症になっています。のどが渇く前に水分補給をしてください。汗を多くかくときは塩分の補給も必要です。
2 番目、早く作業を終わらせたい気持ちがよくわかりますが、人の体はそれほど無理が利きません。まずは休んでから残りの仕事を片付けてください。
3 番目、熱中症は屋外だけでなるものではありません。室内でも発症することが増えていきます。はじめは室温が高くなっても寝ている間に気温が上昇し、熱中症になることもあります。天気予報などを確認し、冷房をするなり、扇風機を使うなり、氷枕を用意するなり、前もって対応することが重要です。

は帽子をかぶる、冷たい水を入れた水筒を必ず持つ、タオルを冷たい水で濡らして顔や首を冷やす、等々。このように熱中症は的確な予測と対応で予防できます。つまり、最も大切なことは熱中症になる状況を予測すること、そして前もって準備を怠らないことです。
古代の人たちは生活の場において多くの危険に囲まれていて、その危険を予測し、あらかじめ準備し、対応する能力に長けていました。そうでなければ生き残れなかったのです。しかし、現代人は高齢者も含めて、危険の予知能力が低下しています。便利になりすぎた現代社会は人間の生きる能力を低下させたといえます。熱中症の予測も予防も生きる能力です。古代人のように生きる能力を回復させましょう。

平成 29 年度 ^{いま} 今日から始める 健康寿命、事業

もしものときのあんしん手帳

～大切な人に伝えたいこと～

皆さんは、「もしものときのあんしん手帳」をご存知ですか？
あんしん手帳とは、介護や医療についての希望やお金のこと、大切な人へ伝えたいこと、緊急連絡先などのほか、自分らしい生き方や望む療養を元気なうちからあらかじめ書き記しておくものです。

今回は、「もしもの時に備えて、元気な時にあらかじめ考えておきたいこと」についてお話いただきます。興味のある人など、お気軽にお越しください。

日時 9月14日(木) / 受付 午後1時～午後1時15分 / 講演 午後1時30分～午後2時30分

場所 山村開発センター 2階研修室 / 申込み 不要

講師 鳥取大学地域医療学講座 浜田紀宏 医師

問合せ先 健康福祉センター (電話72-1852)

